健全で豊かな森林づくりプロジェクト 自己評価シート(5年間の総括)

				いな林介 ノヽ				一直に	<u>ノート</u>	(3十间の	心力		
	プラ	ン名	「長良	川源流の森」健:	全化プロ	コジェク	' <b>-</b>		作成日	24 <mark>年</mark> 4	月 25	日	
	実施	方法	<b>✓</b>	単独 リソ	所属	郡上森村	林組合		記入者	熊﨑弘一			
プ	対象	象(誰を、	(何を)	目	的(どう)	いう状態	にしたいのか)						
ロジ						を持った	:小流域において	、その流	域の森林の	の望むべき姿をト	ータルデザ	イン	
エ				に人工林(70 する。 ・作業路網の整備により、切捨から利用間伐へシフト。									
クト	Оh	a)を対象	<b>累</b> 。	•	作業路網(	の整備に	より、切捨から	村用間伐	ヘシフト。				
の													
対象	事当	<b>上</b> 内容()	どのよう	な方法で、何を行う	のか)								
-				列状間伐・高性能材		活用、信	氏コスト化を図る	)					
目的	• 🗗	中間土場:	を活用、	まとめて選別しトレ	ノーラーで	消費地							
•				発技術を学ぶため <i>σ</i>	)研修等開	催							
内容		を業プラ:		<sup>'食风</sup> 記改革及び普及啓発									
ъ.	41	**************************************	2 - 2 2 2 1 1 1 2	平成 19 年度	<b>~</b> □	<mark>Z成</mark> 23	年度(5	年間)					
		事業期間	]	モデル団地への国・				十四/	 人件費を除く				
		事業種別	1			助関係		D/2 《図 3	治山・保安林関係 その他				
-				森林整備関係			機械導入関係	岭村3	整備関係	/ 一川・休女林関係	ての11	R	
Ť		丸行額( <del>-</del>	TH)	11, 637	-	9, 656							
財		・県費		10, 224	2	9, 271	13, 340	1	41, 310				
源		<b>丁村費</b>		1, 413		385		1	6, 913				
内訳	— 舟	<b>殳財源</b>					14, 674	1	12, 055	/			
九	その	の他									/		
			_15	m 16 1#		単位	事業計画(	年間の終	総計)	事業実績(5	年間の総計	.)	
		成果指標					=	十画		美	 <b>[</b> 績		
	1	① 施業集約化					179			210			
		② 植栽					0			0			
		下刈・隊	수 <i>사</i> :			ha ha	0			0			
		切捨間位					41			68			
						ha							
	_	利用間位	<b>又</b>			ha	179			80			
		主伐				ha	0			0			
		作業道閉				m			1, 411	1, 520		0, 287	
	_			コスト) W= 3.0 /	3.6 m	円/m				5, 100		5, 100	
				デル団地内)		m	22, 500			11, 922			
				デル団地外)		m³							
		木材生產				m³/人日	6. 0			14. 0			
				(伐採~積込まで)		円/m³	10, 500			8, 500			
事業		高性能标				台	2			2			
実		(4) 伐採専門チーム養成				チーム	2			2			
績				ナーの育成		人				6			
	(16)			推進会議		回	年 1			年 1			
	17)			工林は、帯状間伐等		ha				実績なり	L		
		り、自然に近い環境林へシフトする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
		图 「里山の整備」区域は育成天然林整備等により環境林へシフトする								実績な			
		19 森林組合HP及び広報誌によるPR					年 1			HP掲載なし、バ	ム報紙2回		
		② 未整備林に対する施業 (保育間伐) 21) 未整備林に対する施業 (道作りマニュアル)								67			
						ha				実績な	<u> </u>		
		(22)   市役所・農林事務所と連携した普及啓発の推進   (23)   鳥獣害対策								4 字(生 4 )			
										実績な 1	<u> </u>		
		り 郡上市森林づくり推進会議による現地検証 の 推進会議によるアンケート調査の実施								   実績なし			
	補	11. 医太阳	対しよる	, ファード調宜の夫	ne .	回				天限な			
	畑足												
	説												
	明												

【フォローアップ委員会時点の自己評価】										
	 配点		3点		2点	1点				
	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	П	実施されている	\	一部未実施	実施されなかった				
	当初設定した目標(生産コスト等)は達成したか	<u> </u>			一部達成した	□ 達成しなかった				
	進捗管理(定点観測等)は実施されているか		実施されている	~	一部未実施	実施されなかった				
1		【プロジェクトの総括自己評価】								
達	配点		3点		2点	1点				
成	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか		実施されている	<b>√</b>	一部未実施	実施されなかった				
度	当初設定した目標(生産コスト等)は達成したか			~						
	進捗管理(定点観測等)は実施されているか	V	実施されている		一部未実施	実施されなかった				
	<mark>補 足</mark> 説 明									
	【フォローアップ委員会時点の自己評価】									
	 配点		3点		2点	1点				
	 木材生産の拡大が図られているか	<b>7</b>	図られている		一部図られている	図られていない				
	森林環境(動植物等)の改善を確認できるか	<del>- H</del>	大いに確認できる	7	一部確認できる	確認できない				
	山地災害発生を抑止する工夫ができたか	一一	工夫できた	7	一部工夫できた	工夫できなかった				
2		<u>_</u> 【プI	ロジェクトの総括自己	2評価	ī <b>)</b>	_				
_	配点		3点		2点	1点				
成	木材生産の拡大が図られているか	<b>√</b>	図られている		一部図られている	図られていない				
果	森林環境(動植物等)の改善を確認できるか		大いに確認できる	7	一部確認できる	確認できない				
	山地災害発生を抑止する工夫ができたか	<b>√</b>	工夫できた		一部工夫できた	□ 工夫できなかった				
	補									
	【フォローアップ委員会時点の自己評価】									
	配点		3点		2点	1点				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか		得られた ************************************		一部得られた	得られていない				
	効率的な実施体制で推進されているか 積極的に民間活力を活用しているか		推進された 活用できた	<b>✓</b>	概ね推進できた 一部活用できた	□ 推進できていない □ 活用できなかった				
3	候極的に民间沿力を沿角しているが	 7 →° ı	ロ <mark>ジェクトの総括自己</mark>			一 活用できながった				
	配点		<u>コンエグドの総括日に</u> 3点	26十1世	2点	1点				
効	コストや業務量に見合った成果が得られたか		 得られた		 一部得られた	得られていない				
率性	カ率的な実施体制で推進されているか 		推進された		概ね推進できた	推進できていない				
1	積極的に民間活力を活用しているか	<u> </u>	活用できた	7	一部活用できた	活用できなかった				
			70711 C C 72		IP/1/11 C C /C					
	<mark>補</mark> 足 説 明									
	【フォローアップ委員会時点の自己評価】									
	配点		3 点		2点	1 点				
	地域住民(森林所有者)のニーズを反映しているか	V	反映している		一部反映している	□ 反映していない				
	プロジェクトの計画内容(箇所・時期等)は適当であったか	Щ.	適当であった	<u> </u>	一部適当でなかった	<u></u>				
	期待する人材は養成されたか(伐採専門チーム等)									
4		J		ジェクトの総括自己評価】						
妥	配点		3 点		2点	1点				
妥当	地域住民(森林所有者)のニーズを反映しているか	<b>✓</b>	反映している		一部反映している	□ 反映していない				
性	プロジェクトの計画内容(箇所・時期等)は適当であったか		適当であった	<b>✓</b>	一部適当でなかった	適当でなかった				
	期待する人材は養成されたか(伐採専門チーム等)	✓	養成された		一部養成された	<mark> 養成されていない</mark>				
	<mark>補</mark> 足 説 明									

						<b>r</b> ¬ -	+ III '	マップォ	吕心吐	占の	白口	□ (ボー)				
								- ローアップ委員会時点の 3 点			1			1点		
	配点						- 7111				2点			****		
	関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか						J.,	✓ 向上した			<u> </u> _	一部向上した	<u></u>	向上しなかった		
	選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか						4 <u></u>	✓対応できた				一部対応できた	<u>.</u>	対応できなかった		
	上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか							✓ 余地がある				□ 一部余地がある □ 余地がない				
5							【プロ	【プロジェクトの総括自己評価】								
発	配点						3点				2点			1 点		
展	関係	者(住民·克	所有者・従	事者)の満	は 足度は向	上したか		□ 反映している			<b>✓</b>	一部反映している		反映していない		
性	***********			ける指摘事項			<u></u>	適当であった     ✓			<b>✓</b>	一部適当でなかった		適当でなかった		
	上記	以外にも	成果向上	<mark>のための</mark> ī	改善余地(	<mark>まあるか</mark>		養成された			<b>✓</b>	一部養成された		養成されていない		
	補足説明															
	自己評価結果(集計)															
	1 達成度		2 月	<b></b>	3 🌣	加率性	<mark>]率性</mark>				達成度					
		7 7		7	8	7	7					10				
Ē	4 妥当性		5 発展性		合計点		1	発展性 9 成果								
信	Б	7	8	9	6	37	36					0	フォローアップ委員会時点			
	総合評価		フォローアップ時 <mark>5年目</mark> お		妥当				\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \			—■— 総括時点				
			Α					妥当位	性8							
					総合評価	i:A =	1状維持	В	=充実・持	拡大		C=要改善				
(配点区分:A=45~36点 B=35~26点 C=25~15点)																
	<ul> <li>・輸送コスト縮減のため、基幹道(3.6M)の大型トレーラーによる走行が可能な道づくりを進めたことにより、工場への直送体制、価格の安定性、流通コスト低減を図る等の取り組みが図られたことは評価できる。</li> <li>・作業路網の配置と作業の効率化を念頭においた伐採工程を組み立てたことにより、生産効率向上が大いに図られた。</li> </ul>															

## プロジェクト実施者による自己総評 施業集約化チームに加え間伐材搬出プロジェクトチームを設置し、切捨間伐から利用間伐へ移行を進めた。新たな森林整備事業制度への対応を念頭に、組合内で切捨間伐から利用間伐へ意識の切り替えが進んでいたため、林産班以外(保育専門班)においても搬出間伐(高性能林業機械を使用しない)が行われ、各班の木材生産への意識が高められた。 必要最小限の林業機械を効率的に活用する生産システムが確立され、所有者への利益還元が図られたことにより、森林所有者の山への意識が高まった。 基幹作業道からの支線については、高性能林業機械が入れる程度の幅員3m以内の作業路を開設し開設事業費のコストダウン及び壊れにくい作業路とした。今後、開設した作業路の状況やメンテナンスコストなどについて注視していきたい。